

### 第3回 安倍川水系流域治水協議会 議事要旨

1. 日時：令和4年3月16日（水） 13：30～14：30
2. 形式：WEB会議（Webex Meetings）
3. 出席者：3ページ目参照
  
4. 議事
  - ① 安倍川水系流域治水協議会 規約について
  - ② 安倍川水系流域治水プロジェクトについて
  - ③ 令和3年度 取組状況のご紹介
  
5. 議事概要
  - ① 安倍川水系流域治水協議会 規約について
    - 静岡地方気象台の構成員追加に伴う、協議会規約（変更案）の決議
  - ② 安倍川水系流域治水プロジェクトについて
    - 令和3年3月に策定・公表した安倍川水系流域治水プロジェクト「位置図」「ロードマップ」に加え、「グリーンインフラの取組」「（今年度の）流域治水の具体的な取組」を今年度末に新たに公表するため、公表に係る決議を実施した。
    - 「流域治水の具体的な取組」で公表する各指標（河川の整備率など）については、現在、関係する官公庁より集計中である。令和3年度末の本省ウェブサイトでの公表前に協議会構成員内で共有する。
    - 今年度末に公表する流域治水プロジェクト資料「事業効果（国直轄区間）の見える化」については、公表に係る決議を後日書面にて実施する。
  - ③ 令和3年度 取組状況のご紹介
    - 各構成員より今年度の取組状況についてご紹介していただいた他に、流域治水協議会事務局（静岡河川事務所）より中部地方整備局管内の取組事例について紹介した。

#### 【各構成員からの主な紹介内容】

- 【静岡市】

グリーンインフラのメニューである「うしづまの水辺の楽校」を紹介した。地元有志「水辺の楽校世話人会」による運営で、安倍川における自然の豊かさや大切さを子供たちに伝える為に毎年夏休み期間に開校している。運営団体は、開校期間外でも年間を通じ会場となる高水敷の除草等を行い、魅力ある地域づくりに貢献している。静岡市は、河川法第24条に基づく占用許可を取得し、地元住民との間で維持管理に関する協定を締結し、運営を援助している。地元住民・国・市が連携し「牛妻地区かわまちづくり協議会」を組織し、今後も良好な水辺空間形成の円滑な推進を図っていく。

- 【静岡県静岡土木事務所】

「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」として、令和3年度は安倍川指定区間や県管理河川における護岸整備・河道掘削・清水海岸の保全（養浜）を実施した。養浜では、静岡河川事務所の工事によって発生した河道掘削土を清水海岸へ運搬・養浜をし、清水海岸の保全における静岡河川事務所との事業連携を行っている。

- 【森林整備センター 静岡水源林整備事務所】

「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」として水源林造成事業による森林の整備・保全を行っている。水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進していく。安倍川流域における事業地は約180箇所（森林面積約1千ha）であり、令和3年度は除間伐75haを実施した。今後も、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していく。

- 【静岡地方气象台】

気象庁の情報が防災対応判断に活かされるよう、市町や学校で「理解・活用」していただくための支援を行う。具体的には、平常時は自治体職員を対象に防災気象情報の利活用に向けた実践的な研修等を実施する他に、災害時は今後の天候や注意報・警報の見通しを解説・助言し、自治体の災害対応を支援する「気象庁防災対応支援チーム（JETT）」を派遣するなど、関係機関との連携強化に取り組んでいる。

気象に関する予報精度の向上への取組として、今後も線状降水帯の予測精度の向上や最大危険度予測（土砂災害・浸水害・洪水）の検討を進める。

- 【静岡河川事務所】

安倍川水系の直轄管理区間の河川整備事業では、俵沢地区での堤防整備や手越地区などの河道掘削、侵食破堤のリスクを軽減させる為に慈悲尾地区などで低水護岸の整備を実施した。砂防事業では、大谷崩等からの土砂災害を防止する為、大谷崩の山腹工や有東木地区にて新規堰堤の整備などを実施した。令和7年度末までを目標に、国直轄の全区間において昭和54年10月洪水（戦後最大規模）を安全に流下できるよう堤防整備・河道掘削を引き続き実施する。

水防災教育授業の更なる促進及び学校と地域が協働した継続的な学校水防災教育を目的に、静岡大学と「水防災学生サポーター制度」を令和3年9月に創設した。今年度はコロナ感染拡大もあり制度を活用した授業は実施出来なかったが、来年度以降は実施できるよう大学や学校側と調整をしていく。

想定最大規模よりも高頻度の降雨を対象に、外水氾濫において浸水範囲と浸水頻度の関係を図示した「水害リスクマップ（浸水頻度図）」を作成中である。来年度以降は、各構成員の皆様によるご協力のもと、内水氾濫も対象とした水害リスクマップを作成する。

【出席者一覧】

構成員（敬称略）

	氏名	備考
静岡県 市長	田辺 信宏	(代理) 副市長 本田 武志
静岡県 静岡土木事務所長	吉澤 雄介	
国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター 静岡水源林整備事務所長	天田 泰	
気象庁 静岡地方気象台長	高嶺 透	
国土交通省 中部地方整備局 静岡河川事務所長	立松 明憲	

オブザーバー（敬称略）

	氏名
静岡県 経済産業部 森林保全課 治水班長	大野 文敬
農林水産省 関東農政局 農村振興部 設計課 水利計画官	柄澤 昭司